

新製品で新たな販路を開拓します

財あいち産業振興機構の平成23年度「あいち中小企業応援ファンド助成金」の採択を受け、新製品開発・製品改良から販路開拓を行う企業にインタビューしました。

本所では、新製品開発とその販路開拓で課題となる技術面・資金面の解決策として助成金、融資、外部人材の活用等で支援しています。お気軽にご相談ください。

《質問内容》

- ①どのような新製品ですか？
- ②どのように販路開拓しますか？
- ③助成金を活用するメリットは？

『信用が得られ、開発にはずみがつきます！』

～株式会社テク～



(左) 事業部長 田嶋康宏氏
(右) 開発部長 丹野祐輔氏

①世界初の防犯用エアバッグ装置です。これは、圧縮された不活性ガスを使用し、万一犯罪が起きた時、ガスを一気に開放してバッグを瞬時に膨張させます。そのバッグにより、犯罪者が行動を妨げられ、狼狽している間にタクシーであれば運転手が、店舗であれば店員がその場を逃れ、身の安全を確保し警察などへの通報ができます。

②カタログやプロモーションビデオを作成し、展示会への出展やインターネット等を通じて周知・広報を行います。ターゲットは、顧客と現金の取引を行うタクシー運業者やコンビニエンスストア、金融機関です。将来的には海外への進出も視野に入れています。

③これまで試行錯誤を繰り返し、その開発費用がネックでしたが、助成金のおかげで開発を継続できます。また、弊社は工場設備製造メーカーで、本業とは異なる事業進出ですが、国内外の様々なユーザー様からも信用を得られ、開発に協力してもらえ、メリットを感じています。



▲防犯用エアバック (タクシー用)

『新製品の事業化の実現性を評価！』

～株式会社ハマダ工商～



(左) 総括部長格 野上敏治氏
(右) 開発部長 田中弘祐氏

①「まな板の高さ調整機能付の台」を作製します。身長の高い若者が調理する時に、高さが調整できるので身体を曲げずに調理ができます。また、まな板を置くスペースがないキッチンではシンクを使って場所の確保ができます。

②一人暮らしの若者がターゲットです。利用シーンがイメージできるプロモーションビデオを作成し「インテリア総合見本市」等の展示会でPRします。また、このビデオを営業ツールに、ホームセンターや調理器具販売店にアプローチします。インターネットで海外にもPRします。

③世の中に役立つ新製品をいろいろ考えますが、製品化には「売れる見込み」と「資金」がなければなりません。助成金に採択されれば、その新製品の事業化の実現性を評価され、資金も提供されますので後押しされます。助成金を活用すれば、試作から販路開拓までできます。

『高精度な切削・接着技術で新製品開発！ 新分野開拓を目指します！』

～株式会社イナック～



管理部 部長
伊豫田富雄氏

①透明なアクリル樹脂を使用し部品内部を可視化したモデル品です。水道バルブやシャワーなど水回り部品や樹脂成形用金型の分野で、部品内部に流れる水・オイル・溶解金属の流れが確認できるため、製品開発時の構造検討や評価に活用できます。弊社の強みであるアクリル樹脂を高精度に切削・接着する技術を活かし、複雑な形状にも対応できることが特徴です。

②パンフレット作成、展示会出展と個別に営業を行います。流体を扱う器具・装置・部品メーカーをターゲットに考えていますが、幅広い分野への販路開拓を目指します。展示会では製品と技術のアピールだけでなく、来場者・出展企業からニーズを把握することで用途を開拓します。

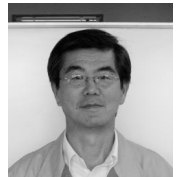


▲ディスクブレーキキャリアサンプル油封入見本

③資金が確保でき新事業に取組めます。また、助成金申請のために事業計画を作成したことで明確な目標に向け全社で取組めます。さらに社員の希望であった“自分たちの技術を発揮して新しいことをしたい”が実現でき、モチベーションアップにもなります。

『自社開発の「ウォーターフル」「どこでも緑化マット」を活用し、新製品を開発！』

～株式会社ホウスイ(株加藤組)～



代表取締役
岩泉正則氏

①額縁タイプの室内インテリア用植物『草窓(SOUSOU)』を開発しました。弊社が開発した高保水剤「ウォーターフル」と保水盤「どこでも緑化マット」を組み込み、斜め・垂直にしても水がマットから落ちませんので、壁に掛けた状態で植物の寄せ植えができます。薄くて軽量ですのであらゆる場所に飾れます。

②室内のインテリア、癒しの空間づくりとしてアピールします。「国際雑貨EXPO」「ギフト・ショー」等、展示会への出展、フラワーショップでの販売により取扱業者・一般消費者向けに販路開拓します。



▲草窓 (SOUSOU)

③経済的なメリットが大きいです。愛知県の助成金に採択されたことはこの事業に対し信用を高めます。また、申請時に事業展開の計画を作成しますので、それを1年で集中的に実施することで製品改良と販路開拓の成果が期待できます。

同封チラシ参照

助成金活用・新製品開発・販路開拓の際はご相談ください！

経営支援部 担当：八田・神谷・鈴木・加藤・平野

☎53-6191